

第1回動植物園施設整備計画策定に関する意見聴取委員会 議事録 要旨

1. 日時

平成29年10月26日（木） 14:00～16:00

2. 場所

熊本市動植物園 動物資料館レクチャールーム

3. 出席委員

伊藤委員（委員長）、石黒委員（副委員長）、庄田委員、小口委員、吉本委員、原委員

4. 配布資料

動植物園マスタープラン（概要版）（案）

5. 次第

（1）開会

（2）委嘱状の交付

（3）熊本市動植物園長挨拶

（4）委員長及び副委員長の選出

（5）議事

・動植物園マスタープラン（案）の方向性について

（6）総括

（7）閉会

6. 議事録

（4）委員長及び副委員長の選出

委員長に伊藤秀一委員、副委員長に石黒義也委員が選出

（5）議事

・動植物園のマスタープランの案の方向性について

事務局	【事務局からの資料の説明】
委員長	まず4つのテーマに関して、これが不十分だとか、別の5つめのテーマがあったほうがよいとかそのようなところはござ

	<p>いますか。</p> <p>(意見なし)</p>
委員長	<p>ひとまずこの4つのテーマについては、大筋で問題なく進めていってよろしいですか。</p>
	<p>(意見なし)</p>
委員長	<p>テーマの1から4に従って進めていこうとは思いますが、ご意見を述べていただければと思いますが。</p>
委員	<p>エリア計画を見て思ったのが、もう少し植物園と動物園を一体化したほうがいいのではと思います。全体を使って動植物を混合して展開していったほうが、後々はいいいのではないかと気がします。その方が、江津湖とも調和できるのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>動植物園側としても、認識があり、できる限り一体化させたいという思いがあるのではないかと思うのですが。</p>
事務局	<p>完全に一体化してしまうことは、難しいですが、できるところは一体化していきたいという考えを持っております。</p>
委員長	<p>その点については、細かい計画が出来上がったときにご指摘頂けたらと思います。エリア計画の中身ですが、地図をみると魅力的ですが、このあたりについて意見はありますか。アフリカゾーンは作ったが、展示する動物がいなくなってしまうなどの懸念はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>本計画の中で、コレクションプランの策定を掲げています。それを踏まえて計画の策定を考えていきたいです。</p>
委員長	<p>ふるさとの自然は、熊本や九州独自の動植物を増やしていくということで、そういうのも必要だと思いますが、九州の動物を展示することに関しては、いかがでしょうか。</p>

副委員長	希少野生動植物をどう展示するかが課題になると思います。園として希少動植物を題材に、教育普及活動をどう展開していくか整理が必要です。
委員	絶滅危惧種や身近な動物達が外来生物にやられていることなどを子ども達に示し、「ふるさとの自然」の中で現在の問題点を示すことができればいいのではないかと思います。
委員長	環境省という立場から、動植物園をどのように考えていらっしゃるのでしょうか。
委員	ふるさとの自然ののですが、作る時にどうやって管理していくかということをもまず考えておく必要があるということ。体験的なプログラムの構築などをどのようにやっていくかが大きな課題だと思いました。
委員長	ふるさとの自然に関してですが、この熊本という場所を考えると、すごく重要ではないかという気がしています。ここは、どういうコンセプトか詳しく説明して頂きたいのですが。
事務局	現在は、国産の動物を動植物園で見た子ども達が、自分たちの足元にある自然の中に足を踏み込み、魅力を感じていき、自然を守る、という気持ちになれば。ただ、獣舎を大きく変えることはできませんので、既存の獣舎を十分に活用しながら検討をしました。
委員長	阿蘇の自然をこちらに再現するということも入っていると解釈してよろしいのでしょうか。
事務局	現段階では、まだ細かく種の選定をしていませんが、阿蘇の自然を再現する時には、専門家の方の協力が必要です。大学や環境省と連携のもと、展示ができればと考えています。
委員長	もし、園が阿蘇への入口になって、体験したことがもととなって、阿蘇に行くきっかけ作りの役割を動植物園が担えば、

	非常にいいと思っております。
委員	熊本らしい自然は大事です。動植物園の展示で完結する必要がないので、興味を持ってもらって、関心がある人は、実際に足を運んでもらえればと思います。
委員長	ふるさとの自然という部分は、私個人的には、一番重要ではないかと思しますので、細かい部分を詰める際には、参考にして頂ければと思います。
委員	動植物園の使命として、伝えていくということも重要と思いますが、ただ、動植物園は楽しい場所ではなくてはいけないので、あまり積極策になるのもいかがかとも思います。勉強するためのきっかけづくりを動植物園で担うことは必要だと思います。
副委員長	園はレクリエーション施設としての役割も担っています。遊具だけでなく、動物や植物とふれあうレクリエーション施設という面が必要だと思います。学びながら楽しいことができるという施設が必要だと思います。
委員長	レクリエーションも重要な役割ですので、遊具も含めてどういことが必要かというのは、検討が必要だと思います。レクリエーションについては、どのように思われますか。
委員	レクリエーション的なところと、公共交通機関とのアクセスですが、市電の電停から動植物園までの距離ですが、そこを繋ぐために、園内のSLを走らせるとか、馬車や牛車みたいなもので行き来するとか、いかがでしょうか。
事務局	確かに、アクセスについては、内部の課題でも上がっています。スペースの問題等で実現までは難しいですが、マイカーだけでなく、公共交通機関をいかに使ってもらうかが課題です。
委員	公園内の長さを感じさせない、楽しい道にしてもらいたい

	<p>す。園に向かう時に、わくわく感がない。市電から降りて、動植物園の入口がよく分からないところにあるので、降りた瞬間、動植物園はこっちというものが欲しいです。</p> <p>とべ動物園は入口からずっと上っていますが、道に動物の足跡がずっと繋がっていく。その足跡もどの動物の足跡など、学べるようになっていて、それを見ていくとあつという間に動物園の入口に入っている。すごくいい手法だと思いました。どうでしょうか。</p>
委員長	<p>そういったものは、お金をかけずに、手作り感満載の看板を作ってもいい気がします。</p>
事務局	<p>以前からの課題なので、できることから取組めればと思います。</p>
委員長	<p>外のレクリエーション性という意見が出ましたが、中のレクリエーション性をどういう風に上げるのかについては。</p>
副委員長	<p>広い土地があれば、来園した子ども達が、どんぐりを1つ植えて帰る。数年後にきたら、成長した姿が見ることができる。水俣の環境センターの下の森は、子ども達が植えた森になっています。そういうのもいいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>今チンパンジーのところで、来園者が木を植えて、それをチンパンジーが食べたり食べなかったり、イベントを行っている実績もありますので、こういうものが、リピータに繋がったりします。</p>
委員	<p>園の池から、ボートに乗って見ることはできないですか。</p>
副委員長	<p>私の記憶にはないのですが、昔江津湖から動植物園にボートで入れるという時代がありました。</p>
委員長	<p>先日、チェスターの動物園に行ったのですが、そこは、水路が巡らされ、自動のボートがあって、そのボートから見ることができました。雨が降っていても、屋根が付いているので、</p>

	<p>見ることができる。実は私は、遊具にあんまり賛成ではなくて、観覧車とかモノレールはいいと思いますが、絶叫系はあまりなくてもいいのではと思います。その代わりに、ボートでゆっくり観覧できるとか。収入のために遊具が必要であれば、動物や植物がゆっくり見られるような遊具あったらいいと思います。</p>
委員	<p>せっかく池があるのならば、活用したほうがいいですね。</p>
委員	<p>収入の話がでてきましたので、テーマ4のお話をお聞きしたいのですが。テーマ1が一番重要で、次がテーマ4とっております。まず、自主財源に充当する経費ということで、冒頭の説明ですと、収入が3億、支出が10億、差し引き、マイナス7億ということで、単純計算で、10年間で70億の税金が投入されている現状です。熊本市は皆さんご承知のように、熊本地震のあと、非常に財政状況が厳しくなっておりますので、今後これだけ負担していくことが、市民の方に理解が得られるのかということ、非常に厳しいものがあるのではないかと考えております。従いまして、自主財源比率を上げるためには、収入を上げるか、経費を下げるかのどちらか、あるいは両方をやっていくことになるかと思っております。経費削減だけで達成するとなると、億単位で減らすことになるかと思うのですが。おそらく経費は人件費を抜くと、ある程度固定費、維持管理費が大半になると思います。削減するにしても、おのずと限度があると思います。収入のほうを増やすとなれば、入園料300円を値上げする。他の公営の動物園と比較すると、比較的熊本市は安価であり、他都市平均が500円から600円とのことでした。この点をどうされるのか。今、委員長からお話がありましたが、遊具ですが、教育的な観点はともかく、経営的な観点からしますと、収入を増やすとなるとかなり有効な手段でないかと考えますので、この取扱をどうするのか。6ページにお示し頂いているものは、まだ努力目標であって、具体的な数字の積み上げというものは、これからという理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>これからではありますが、今具体的に考えているのは、入園</p>

	<p>料と駐車場使用料の見直しです。2019年度の秋に消費税も増税になっている背景もありますので、当然園としての支出に影響する部分もあります。それらを踏まえて、検討している状況です。</p>
委員	<p>入園料を上げるには、市議会で議決を経なければいけないということですよ。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
委員	<p>そうしますと、仮に入園料を500円から600円程度に引き上げるとすると、利用される方からすると、倍になりますので、当然市としてできる限り経費削減に努めることが必要となってくるかと思えます。次回の意見聴取委員会までに、具体的に水道光熱費を削減されるのであれば、どう削減するか。どの程度削減できるのかを次回お示し頂ければと思います。</p>
委員長	<p>海外の動物園では、飼育施設ごとにスポンサーがついていて、企業名の札が一覧になっているところがあります。最近では、日本国内でも、規模の小さなところも含めて、企業のスポンサーがあります。熊本にも大きな企業がありますので。その部分を検討されてもいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>企業だけでなく、個人でも自分の好きな動物の所に名前を出してもらう園もあります。そうすると、その方も嬉しいですよ。そういう気持ちが多くなっていくと、寄附というものもいっぱい集まるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>入園料、駐車場使用料、遊戯施設使用料以外の部分でも、検討していただけるといいかと思います。私としては、300円は安すぎると思いますし、海外の公立動物園は、3千円とか5千円が普通でした。それは難しいとは思いますが、市民の方にとってみれば、300円が600円になると倍となるので、インパクトが強いと思いますが、その代わりに、こういうプランを実施していきますという説明をしっかりと</p>

委員	<p>かないと、マイナスだけのイメージが先行してしまう気がします。いろんな収入の枠組みを検討してもいいのかもしれないと感じます。園内の中で、いかに楽しめるかなど充実していれば、入園料をあげたとしても、理解が得られると思います。入園料などを上げて人も来る、イベントやプランがあればいいと思います。バリアフリーとかトイレとかこのまま進めて頂ければと思いますが、そのあたりで何かご意見があれば。</p> <p>園を回るときに、感じたことを伝えなかったのですが、展示を見るにあたって、段差もありますが、ベビーカーや車いす利用者は目線が低いので、その人が通りやすい通路、子どもが集まって観覧する通路、おとなが見る通路のような、展示が見やすい通路があるとありがたいなと思います。</p>
委員長	<p>ハード面、ソフト面両方の運用が必要になってきますね。動物の管理からすると、動物が人から見え過ぎると良くないという話があります。イギリスの動物園を回ってきたときは、わざとガラスに見にくいように、木のカッティングシートが貼ってあり、お客さんが一生懸命見ないと動物が見られない。動物からは、お客さんが見にくい状況になっていました。他には、通路に木や植木鉢が並んで、見にくいなと思うんですが、それによって、動物のストレスレベルが下がって、動物は自由に過ごしている。見やすいとこと見にくいとこと、動物と人と両方を考えた施設もあっていい気がします。万人に受けようとする、中途半端になってしまうと思います。今、バリアフリーの話や動物や人間両面から見た話などが出ましたが。</p>
委員	<p>動物とのふれあいで思ったのですが、珍しい動物を目当てにする方は多いと思うのですが、身近な動物はできないのかと思ひまして。阿蘇であれば、赤牛がいて、赤牛はもともと阿蘇の種であるので、おとなしい動物です。口蹄疫等の問題もあるかもしれませんが、ふれあいであれば、割と扱いやすいし、阿蘇の象徴でもあるので、そういうものを導入して、子ども達と触れ合うというのもうけるのかなと思いました。</p>

事務局	<p>非常に魅力的だと思います。牛は入れていませんが、ミルク牧場等を見ると子ども達が牛と触れあうは好きではないかと感じています。ふるさとと赤牛のつながりを考えると。ただ、飼育スペースの問題等クリアしなければならない条件があると思うのですが、非常にいいお話ではないかと思えます。東海大学さんから、以前お話を頂いたこともありましたので、今後検討していきたいと思えます。</p>
委員長	<p>学生さん達が、研究に来るといいうのも計画に挙がっているので、東海大学だけでなく、熊本大学や崇城大学含めて、一般の学生さんを使うこともいいのでは。そうなったときに、将来園に就職できるというものがあれば、学生のモチベーションが上がるので。そこに繋がれたらいいなと思えます。</p>
副委員長	<p>博物館に植栽を置くスペースがないです。肥後六花を見せられるようなスペースがあれば。肥後芍薬、さざんか、椿がただ植えてありますが、その場所を肥後六花園のように整備するといいと思えます。</p>
事務局	<p>概要版には入っていませんが、検討する中で、肥後六花の栽培をするという話も上がりました。</p>
副委員長	<p>それと同時に、その時期に菊花展をすれば。新宿御苑にも肥後菊の花壇ができていますので、肥後菊の展示会をすると同時に、菊の愛好者を集めて、菊花展をすると集客に繋がると思えます。</p>
委員長	<p>阿蘇キャンパスでも毎年開催して、一般の方を招待しています。博物館との連携など、別の組織との連携も深めたらいいのではないのでしょうか。場所的にも中心地にありますし、ここで、動物と植物の専門家が集まる場にできるといいですね。他に皆様のご意見はありますか。なければ、議事を終了します。</p>

(6) 総括

委員長

私自身勉強になりました。あと2回できることも非常に楽しみです。動植物園、期待をされている場所だと思いますので、この先九州の中心になるような、いろんな方が来て、いろんな方がここで勉強されるような場所になればと思います。